

2022年2月25日

日本造血・免疫細胞療法学会
理事長 豊嶋 崇徳

ジーラスタ皮下注を用い、健常人ドナーからの 末梢血幹細胞の動員・採取に関する学会からのお願い

持続型 G-CSF 製剤であるジーラスタ皮下注の効能・効果として、2022年2月25日より「同種末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員」が追加され、同種末梢血幹細胞採取を行う上で、新たな選択肢の一つとなりました。

学会としては、ジーラスタ皮下注に関しても、先行製剤が採用した安全面の確認をするステップを踏むことが必要と判断し、ジーラスタ皮下注の使用は、当面の間、血縁ドナーに限定することとし、メーカーによる全例調査を行うこととなりましたので、ご協力の程、宜しくお願ひいたします。

なお、非血縁ドナーへの移行の判断は、血縁ドナーフォローアップ調査の結果等を総合的に判断し、決定していく所存です。

健常人ドナーに対するジーラスタ皮下注の使用においては、投与回数や通院頻度が連日投与型 G-CSF 製剤と比較し、軽減される一方で、外来管理下での安全対策が求められるなかで、「ドナー手帳」の改訂も準備していることから、有効活用していただきたく、ドナーへの周知をお願いします。